

### 基本データ

日時：2020/02/24

場所：福井大学 文京キャンパス・松岡キャンパス

運営体制：

職員3名 | 学生委員11名 | アドバイザー8名

参加者数：38組

### 目的/概要

新入生とその保護者の方が新生活に向けて抱えている不安を解消するため、福大生の先輩が直接新生活について紹介する。

### コンテンツ

- ・受付・ガイダンス
- ・お部屋探し
- ・生協・共済加入
- ・ミールパスについて
- ・PC・語学教授について
- ・清算・商品受け渡しのご案内など

## 01 まずは「今日の不安」を取り除く！

### 最初に「今日の流れ」を説明

新学期活動が「新入生の不安を解消する」のが目的なのは当たり前！その上で、新入生サポートセンターに来場した新入生とその保護者の方へ、最初に「今日の流れ」を分かりやすく案内していました。

当日の見通しを、最初に持つことができた来場者の方々は、安心してお部屋探しや生協・共済加入をしている様子でした。



ポスターで「今日の流れ」を分かりやすく解説していました。

## 02 新生活の学業面に具体的なイメージを！

### 「ポスター」×「実物」で掲示を強化

学部・学科ごとの特徴をポスターにまとめ、一覧できるようにしていました。また、実際にその学部・学科で使用されている教科書も展示していました。

新入生にとって「イメージが湧かず不安の多い新生活」を、「具体的なイメージが湧く新生活」にすることができる手法だと思いました。イメージが湧くと、不安よりも期待が大きくなると思います！



ポスターはもちろん、実物(教科書)も使って新生活を提案していました。

## 03 先輩の「実感」をより多く！幅広く！

### 動画を流して、より多くの先輩の「実感」を

会場の一角では、共済の給付を受けた先輩のコメントや新入生サポートセンターの一紹介などが、動画で流れていました。

新入生は、必要な情報をより分かりやすく知ることができていました。また、当日会場に居る先輩だけでは体験したことがないことについても、その「実感」を新入生に伝えることができていました。



「動画が流れている」というだけでも、会場の雰囲気柔らかいものに！

## 04 より納得のいく 住まい選びを！

### 先輩が、自分の住まいの「実感」を紹介

先輩が自分の住まいの良い点・悪い点を、実感を踏まえて紹介していました。

多くの新入生は、住まい探し・選びは人生初めての経験です。そのうえ住まい選びは、今後数年間の生活を左右します。できるだけ後悔のない、納得のいく住まい選びをさせてあげたいですね。

掲示によって「お部屋選びのポイント」になりうるものを紹介することができていました！



新入生が  
住まいを探す  
際の参考に  
なっていました。

## 05 「生活の提案」で 新生活に期待を！

### 新生活用品を通して「生活」を提案

新生活用品の紹介では、実際の生活の場面でのどのように便利なのか、なぜ必要なのか、というポイントを重視していました。

「物」ではなく「生活」を提案することで、大学生生活全般の具体的なイメージが湧くようにしていました。新入生は、新生活への期待を膨らませているようでした！



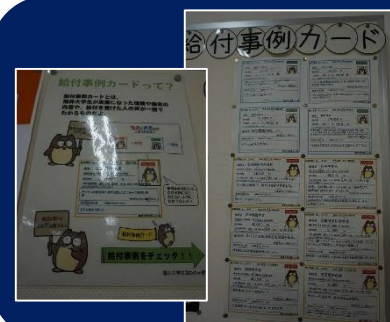
生活の中で  
どう便利か、  
なぜ必要か、  
に焦点を当てて  
商品を紹介して  
いました！

## 06 届けたい情報を 届けやすい形に！

### 共済の給付事例を見やすく掲示

共済の給付事例をカードにまとめて、分かりやすく掲示していました。

新学期活動で、新入生への共済の説明を避けて通ることは出来ません。先輩の実感を伝えるための給付事例を活用し、新入生が実感をもって考えることができる説明をすることができていました！



カード形式に  
することで、  
新入生に  
「より届けやす  
い」情報にな  
っていました。

## 07 1人1人に寄り添い、 安心感を生む！

### 1対1、対面での個別対応

新入生1人に対して、先輩が1人以上になるように対応していました。

1対1の対面での対応だからこそ新入生と先輩の絆も生まれ、安心して何でも相談・解決することができる場を作り出すことができていました。



誠実、真摯に  
新入生が抱え  
る不安と向き  
合っていました。



関西北陸ブロック  
学生事務局  
[ 星野来季 ]